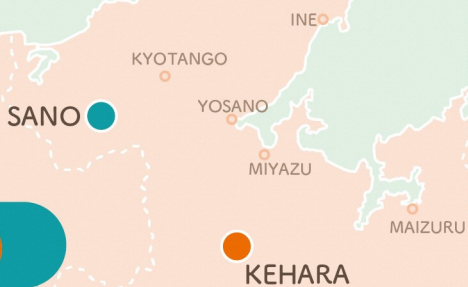


地域で"暮らす""働く"を楽しくする ~「関わりたい地域」のヒントを探る~

地元の人が留まる・戻ってくる、外から人が訪れる・移住するような、「関わりたい地域」ってなんだろう？

- ・その地域で生まれ育った地元の人
- ・地域おこし協力隊など仕事として関わる人
- ・なんのしがらみもない移住者

にとって、どうしてその地域に「関わりたい」と思ったの？
どうだったから「関わりやすかった」の？を地元×移住者
で取り組んでいる2地域をお呼びし振り下げます！
地域に「関わりたい！」が増えるヒントが見つかるかも！？



京丹後市久美浜町

佐濃地区

佐濃地区は2016年「これからも住み続けたい地域」をコンセプトに佐濃自治会を発足。2022年から移住の取り組みを進め、毎年15人余が佐濃へ移住。現在、水曜カフェ、こ恋ろ広場など世代を超えた人々の交流事業も盛んに行っています。



佐濃地区出身

森本賢一郎

高校卒業後「地元には戻らない！」と大学進学。民間企業に就職後、教員に転職。40年前家族でUターン。地元小・中学校に勤務。退職後自治会長を6年務め、現在移住の取組に加え、水曜カフェを運営、地元を元気にしている。

地域おこし協力隊卒業

羽尻晶

兵庫県豊岡市出身。神戸市で栄養士やコーヒーショップ店員として働いた後、2022年に地域おこし協力隊として久美浜町佐濃地区へ移住。移住促進をミッションに空き家調査や移住ツアー、情報発信、喫茶の運営などに携わる。

1ターン

藤井千恵

京都市出身。2024年10月夫婦で移住。久美浜の食材、環境、人に一目惚れし、1週間で移住を決意し実行。まちまち案内所、佐濃自治会に関わりながら、米づくりに挑戦中。地元の人・文化へのリスペクトが止まらない！

福知山市大江町

毛原地区

鬼伝説で有名な大江山の山間、「日本の棚田百選」の棚田がある小さな集落。1997年から「棚田農業体験ツアー」を、1998年からは全国でも先駆けとなった「棚田オーナー制度」をスタートさせるなど、都市・農村交流に積極的に取り組んでいます。

大江町出身

櫻井一好

京の田舎ぐらしナビゲーター。棚田オーナー制度や棚田ワンダービレッジプロジェクトをはじめ、各種体験会を実施。現在、縁側喫茶の開店、毛原放送局から魅力的な地域を発信し関係人口増加に取り組む。セルフビルドのログハウス「ゲストハウスサライ」も開業。

地域おこし協力隊

岩尾美咲

横浜市出身。2024年11月から地域おこし協力隊に着任。大江町河守上地域のチームみすずで、「地域活動の仲間づくり」のミッションのもとリヤカースタンド「柗結車」にてイベント出店を行う。今年店舗として生活雑貨と喫茶店「柗結舎」オープン予定。

ファシリテーター 坂田 真慶 / 丹後暮らし探求舎

2017年に京丹後市に移住。自分や周りの人が楽しく暮らせるように、地域・企業・行政の相談に乗ったり、伴走支援をしている。喫茶店と公民館の間くらいの「まちまち案内所」の運営もしている。趣味はまち歩きと読書。

【定員】30名程度

【参加費】無料

【申込方法】2月27日(金)17時締切

QRコードにてお申し込みください

(当日参加も可ですが人数把握のため、ご協力よろしくお願いします)



主催：京都府丹後広域振興局・中丹広域振興局 / 企画：一般社団法人丹後暮らし探求舎

問い合わせ先：京都府丹後広域振興局 企画・連携推進課 0772-62-4300 t-c-kikaku@pref.kyoto.lg.jp